



# デジタル・エコノミーの 進展と競争政策

～IoT、データ、プラットフォーム・ビジネスと法～

日時 / 会場

**2018年3月30日(金) 13時～17時30分**  
**大阪弁護士会館2階ホール**

ビッグデータの活用や人工知能(AI)やIoTの開発・普及により  
次々にイノベーションが生み出される中で、事業を行う上で基盤となる技術を有する等、  
強い地位をもつ者が競争のあり方を歪めたり、  
不公正な取引条件を課したりすることが懸念されている。  
この中で、なかでも、巨大化するプラットフォーマーや標準必須特許  
(標準化された技術を実施する際に必要な特許)の保有者、  
自らは利用する意思も無いのに特許を保有し特許侵害を訴えることで  
多額の賠償金等の獲得を目指す者(パテントトロール等)の行動に注目が集まっている。  
本シンポジウムでは、国内外の動きを踏まえて、デジタル・エコノミーが進展する中で、  
企業がどのような競争環境におかれているか、そして独占禁止法(競争法)と  
競争政策はどのような役割を果たすのかを議論する。

■議事次第■

司会：岡田羊祐  
(公正取引委員会競争政策研究センター(CPRC)所長)

13:00～13:10 オープニング

挨拶：小原正敏(大阪弁護士会会長)

13:10～14:15

第1部 IoT / AI時代の知的財産権と競争法

モデレーター：泉水文雄(神戸大学教授)

報告者：Jorge L. Contreras(ユタ大学教授)

討論者：芝田員範

(京セラ株式会社法務知的財産本部ライセンス部部长)

Liyang Hou(上海交通大学教授)

川濱 昇(京都大学教授)

14:30～17:20 \*途中コーヒブレイクあり

第2部 データ・プラットフォームと最近の競争法執行の状況

モデレーター：Thomas K. Cheng

(香港競争委員会委員・香港大学准教授)

報告者：青木玲子(公正取引委員会委員)

「日本における取組み」

Simon Vande Walle(欧州委員会競争総局)

「EUにおける取組み」

Thomas Weck(ドイツ独占委員会)

「ドイツにおける取組み」

討論者：福岡則子(パナソニックIPマネジメント株式会社  
ライセンス部担当部長)

浜中孝之(はばたき綜合法律事務所弁護士)

〔15:50～17:20 パネルディスカッション〕

17:20～17:30 クロージング

挨拶：根岸 哲(神戸大学教授)

主催：公正取引委員会競争政策研究センター

共催：大阪弁護士会、関西経済連合会、大阪商工会議所、(一社)電子情報技術産業協会関西支部、神戸大学<sup>(※)</sup>

※日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究(A)「プラットフォームとイノベーションをめぐる新たな競争政策の構築」の支援を受けています。

お申込み▶平成30年3月23日(金)までに以下のURLからお申込みください。

[https://www.jftc.go.jp/kosyukai4/form/apply\\_infos/insert](https://www.jftc.go.jp/kosyukai4/form/apply_infos/insert)

お問合せ▶公正取引委員会競争政策研究センター事務局 Tel: 03-3581-1848 E-mail: cprcsec@jftc.go.jp